

決算特別委員会

- ◎ 開催日時 平成 28 年 10 月 25 日（火） 9 時 59 分～16 時 51 分
 - ◎ 開催場所 議員室
 - ◎ 説明員 村上琵琶湖環境部長、桑山土木交通部長、渡邊警察本部長および関係職員
 - ◎ 議事の概要
- 1 議第127号、報第8号、報第10号および報第11号について

【琵琶湖環境部所管分】

委員からは、施設整備や改修については、それぞれの部局だけで検討されるのではなく、琵琶湖環境部から働きかける形で、例えば環境ビジネスメッセに出展されている技術やサービスなど、滋賀県らしい環境に配慮した取り組みを行うことも視野に入れていただきたい、などの意見が出された。

【警察本部所管分】

委員からは、延滞金加算金および過料等について、時効により回収が不可能となった不納欠損金があり、債務者の財産の状況や生活困窮といった個別の事情により回収が難しいとのことであるが、放っておけば違反金を支払わなくてもよいという風潮にならないようしっかりと徴収に取り組みたい、児童、生徒を交通事故から守る「おうみ通学路交通アドバイザー」等事業について、多くの方がボランティアで頑張っていたているが、市町とのタイアップがない状況なので、警察から市町にも協力してもらえよう働きかけていただきたい、などの意見が出された。

【土木交通部所管分】

委員からは、土木交通部が所管している工事については、県民への投資であり、耐用年数が短くなると結局のところ県民にとってプラスにならないことから、評価や品質の高い工事が行われるように現在の総合評価方式や一般競争入札などの制度設計をきちんと内部で協議いただきたい、県内業者の育成の観点から、施工が可能な工事については、工事金額に関係なく、県内業者に優先して受注の機会を与えるべきではないか、交通基盤の整備について、人口が少ない地域ではバス路線が減少している状況であるが、高齢者にとってバス路線は貴重な交通手段であり、また、人口減少や過疎化を食いとめるためにも非常に重要な事業であるので、決算の結果に基づいて、しっかりと新年度に向けての予算化をお願いしたい、などの意見が出された。



委員会で配付された資料

- 1 決算特別委員会部局別資料（平成 27 年度歳入歳出決算）琵琶湖環境部
- 2 平成 27 年度随意契約の結果（500 万円以上の工事、物品、委託）、平成 27 年度長期継続契約締結結果（7 千万円以上）琵琶湖環境部
- 3 決算特別委員会部局別資料（平成 27 年度歳入歳出決算）警察本部
- 4 平成 27 年度随意契約の結果（500 万円以上の工事、物品、委託）警察本部
- 5 決算特別委員会部局別資料（平成 27 年度歳入歳出決算）土木交通部
- 6 平成 27 年度随意契約の結果（500 万円以上の工事、物品、委託）土木交通部